ひまわり

令和元年度第７号
山鹿市立大道小学校
令和元年10月28日発行
文責：校長 池田　功

みんなの夢応援します！「ひまわりプロジェクト」

十月十五日（火）の三・四校時に五年生・六年生を対象に「ひまわりプロジェクト」を実施いたしました。本校の卒業生や保護者の方に協力をお願いして、多くの仕事に出会わせ、子どもたちの夢を応援することを目標としています。プロジェクトの流れ、子どもたちの感想を紹介します。

１　全体会（仕事の先生紹介）
○農家の奥村さん　○保育士の富野さん　○介護士の松本さん
○獣医師の吉田さん　○消防士の飯田さん

↓

２　ポスターセッション（仕事の先生の話）
２０分間を３回（子どもたちは３つの仕事を選び教室を移動してお話を聞く）。
①仕事を選んだ理由、なりたかった理由
②どのようにしてなったか（高校→大学・専門学校）
③どんな喜び・苦労があるか
④質問に答える
⑤子どもたちへ

↓

３．全体会（まとめ）
子どもたちの感想発表、お礼の言葉

子どもたちの意見発表（全体会）

奥村さんの説明

吉田さんの説明

飯田さんの説明

富野さんの説明

仕事の先生説明の様子

松本さんの説明

【ひまわりプロジェクトの感想】

吉田さんが獣医さんになったのは、動物が好きだったからです。そして、子どもの時の夢は大人になるまで変わらず獣医さんでした。そのために専門の学校などに行き、免許をとって仕事をするのに六年間かかったそうです。とてもすごいことだと思いました。同じように農家の奥村さんは、自分で仕事の内容を決めて休みの日も自分で決めると話されました。つまり自分をコントロールする力がないと農家の仕事は出来ないということだと思います。消防士の飯田さんは、毎日同じ訓練を多くの命を守るために、文句を言わずに続けられています。つまり大人になって大事なのは自分をコントロールする力だと思いました。

保育士の富野さんのお話で、「好きな事に出会うことが夢への第一歩。」ということが一番心に残っています。富野さんが好きなことが仕事につながると話されていたからです。富野さんは、子どもとふれ合うのが好きだから保育士になられました。また、松本さんの話で、「今までの経験は、一生の宝」という言葉がありました。この「ひまわりプロジェクト」や今度行く修学旅行を一生の宝にしていきたいと思いました。

ぼくは、今日の「ひまわりプロジェクト」を通しての感想は、「すごかった」です。三人の方の話を聞いて、今の仕事につくために専門の学校に行ったりして、小学校からの夢がかなうのはすごいと思いました。また、「経験はムダではなく宝」というのを聞いて、いろいろな経験をすることの大切さを感じました。そして、今でもできる笑顔、あいさつ、言葉づかい、そうじ、そして人として正しいか、それを毎日学校の生活の中でしたいと思いました。今日の話は、将来にもつながるけれど、今の生活につながる話で、とてもすごいと思いました。

大盛況　ランタンフェスタ

十月五日（土）に東原遺跡公園で「ランタンフェスタ」がありました。天気に恵まれ、大道保育園・本校の子どもたちが作ったランタンの灯りが巴型土器を映し出しました。子どもたちも、自分のランタンを見つけて点火をしたり、家族に説明したりしていました。

この行事は、社会教育課、東原遺跡応援団、ふるさと元気隊、本校のＰＴＡなど多くの方々の協力で行われました。子どもたちが喜び、多くの方々が集う行事になっている事のすばらしさを感じました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

準備ランタンを並べる

ランタンに点火

山鹿市小体連陸上記録会

十月八日（火）に山鹿市小体連陸上記録会に五年生・六年生が出場しました。１００ｍ走、走り幅跳び、８００ｍ走、ボール投げ、リレーの競技があり、練習の成果を出すことができました。特にリレーは、朝練、放課後の練習と何度も取り組みました。当日は多くの保護者の皆様の応援がありました。ありがとうございました。

感想発表（それぞれの感想を出しました！）

山鹿市特別支援学級運動会・作品展

十月十九日（土）に山鹿市特別支援学級運動会・作品展が菊鹿のグリーンパルスであり、本校からも出場しました。練習を三玉小、八幡小と合同で行い準備をしてきました。当日は、練習の成果を発揮し徒走、技走、ダンスでがんばりました。また、これまでの学習で取り組んだ作品が展示され、本校の子どもたちのがんばりはもちろん、他校の子どもたちのがんばりも見ることができました。保護者の皆様、応援・競技への参加ありがとうございました。

がんばりました！（練習の成果を出しました！）

保護者の皆様のご支援に感謝

十月二十二日（火）に本校保護者の青木　修様がお亡くなりになりました。これまで熱心に本校を支えていただきましたことに感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

また、保護者の皆様が、子ども一人一人の思いや願いを考え協議していただきましたことに感謝申し上げます。六年生の保護者の団結力、ＰＴＡの団結力を感じました。それは、子どもたちの団結力につながっていると思いました。